

2026. 4月

## 北文化小劇場 イベントスケジュール

開催日	催事名	開演	終演	問い合わせ先	入場料
4/19 (日)	宗家 藤間流 春の花ふじ舞踊会	13:30	15:45	花ふじ会 藤間 勘楊花 090-9197-3163	無料 詳しくはHPへ↓ 
4/29 (水・祝)	kajii[カジー]による 新作公演 家の中の音楽会	14:00	15:00	北文化小劇場 052-910-3366	全指定席 一般 3,000円 中学生以下 800円 友の会・障がい者等 2,700円 詳しくは中面参照 

# 北文化小劇場だより



## Topics

- 今月の特集：Spot Light／kajiiによる新作公演「家の中の音楽会」
- 伝統文化アドバイザー連載エッセイ
- 事業レポート：2/15「芸どころ名古屋公演」

公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 [北文化小劇場]

〒462-0037 名古屋市北区志賀町4丁目60番地の31

[営業時間] 平日9:00～20:00／土日祝9:00～17:00

[休館日] 月曜日

ホームページはこちら

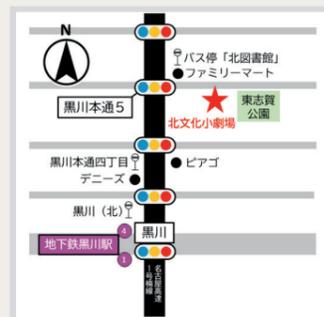


☎ 052-910-3366 (FAX 052-910-3367)

✉ kita@bunka758.or.jp

📍 地下鉄名城線「黒川」下車 4番出口から北へ徒歩12分

 北文化小劇場にて  
チケット取扱いあり



総合建設業  
株式会社 原田工務店  
☎052-901-3210

**KAWAI**  
NAGOYA  
☎052-962-3939

清酒 金虎  
☎052-981-3960

お料理・仕出し・うなぎ  
魚鉄  
☎052-911-1211

## 今の特集



# 新・日用品コンサート！「家の中の音楽会」 kajii[カジー]さん インタビュー



4/29(水・祝)開催の「家の中の音楽会」より、出演者のkajiiさんにお話しを伺いました！

### ー普段はどんな活動をされていますか？

日用品で作出した楽器のみでコンサートを行なっています。出張演奏スタイルで全国各地を駆け巡っています。

### ー活動をはじめたきっかけを教えてください。

お客さんにとって身近に感じる音楽とは何だろう？と考えたことがあり、家の中にあるもので音楽が出来たら…という答えが浮かびました。色々試すうちにお茶碗がいい響きを持っていて1つ1つちゃんとした音階を持っている！と気づき、2年ほどかけて集め、メインの楽器「食琴」が出来上がったのがスタートです。

### ー今回の公演の見どころを教えてください。

8年ぶりの新作公演という事で、演目・使用楽器を大幅に入れ替えたプログラムをご用意します。観客参加型の演目も多数有り、見て・聴いて・鳴らして楽しめる内容となっています。

### ー来場者の方に向けて一言お願いします。

今までkajiiを見た事がある方は勿論、初めての方でも存分に楽しんで頂けるプログラムをご用意しております。全年齢対象となっておりますのでご家族・お友達皆様で是非お越し下さいませ！

### プロフィール

クマーマと創(そう)のユニット。  
「音楽と楽器をもっと身近に」という願いから200種類以上の日用品楽器を創り出し音楽を奏でる。茶碗、どんぶり、湯呑みなどを並べたオリジナル楽器「食琴(しょっきん)」をメインに、タライ、空き缶、ペットボトル、お菓子の空き箱などから飛び出す音楽が絶賛され、名古屋を拠点に全国各地で1000以上のステージに出演。  
「おうちでできる！kajiiのふしぎな手づくり楽器」をヤマハより出版。  
ちなみにメンバーの二人とも、パパである。

## イベント情報

### kajii[カジー]による新作公演 「家の中の音楽会」

[日時] 2026年4月29日(水・祝)  
14:00開演(13:00開場)

上演時間 約60分

[場所] 北文化小劇場

[料金] 一般 3,000円

中学生以下 800円

友の会・障がい者等 2,700円

マス席 8,000円(1マス6名まで) **マス席は完売しました**

13時～  
ロビーでも楽しい  
催しがあるので、ぜひ  
お早めにお越しください！



チケットの  
ご購入は  
こちら→



伝統文化アドバイザー  
連載エッセイ

## 第11回 花に恋して～卯月



華道石田流 四代目家元  
石田 巳賀先生

華道石田流四代家元。G20愛知・名古屋外務大臣会合夕食会装花。愛知県「伎芸精髓 あいちのエスプリ」出演。「日本・アルザス友好150周年記念」コルマル市長より表彰。日本伝統文化を後世に繋ぐ活動に尽力を努めている。愛知淑徳大学、金城学院大学、東海学園大学非常勤講師。

4月は、新たなスタートを迎える季節です。やわらかな春の陽気に包まれ、自然の中では次々と花が咲き始めます。3月下旬から4月上旬にかけては染井吉野の桜が見頃を迎え、淡い花色が人々の心を和ませてくれます。続いて4月中旬から5月中旬にかけては「牡丹桜(ボタンザクラ)」が美しい時期となります。八重咲きの花姿は牡丹を思わせ、花と同時に新芽が芽吹くため、比較的長く開花を楽しめるのが特長です。また、この頃には藤の花も咲き始め、春から初夏へと移ろう季節の美しさを感じさせます。

今回の作品は、大阪の高島屋で開催された日本いけばな芸術展に出品したものです。縦横およそ160センチの三人席という広い空間で、恩師である深川美翠先生、平田明翠先生と共にいけた、思い出深い作品となりました。テーマは『源氏物語』より「忍ぶ恋」。幼い若紫が春の花の下で無邪気に手鞠遊びをする様子を、物陰から静かに見守る光源氏の姿を重ね、控えめながらも深い想いを表現しています。花材には、牡丹桜、レンギョウ、藤、シャガを用いました。

石田流いけばなの特長は、花の形や色だけでなく、物語性や心情を大切にしながら作品をいける点にあります。花をいける際に、好きな物語や音楽、情景を思い浮かべてみることで、作品の世界がより豊かに広がります。そうして生まれた一作一作が、世界に一つだけのかけがえのない表現となるのです。



## 事業レポート

### 2/15 みてきくみりよく「芸どころ名古屋公演」

北文化小劇場【伝統芸能アドバイザー】と共に、伝統芸能を受け継ぎ広く知っていただくために「芸どころ名古屋公演」を年一回開催しています。令和7年度は、端唄(はうた)・小唄(こうた)を主軸に据えて華房小真先生にプロデュースしていただきました。11時から15時半までの長丁場でしたが、華々しく賑やかな一日となりました。今回のための新曲「綴り唄北甚句」を一般参加者のみなさんと披露する場面では、来場者のみなさんも一緒に唄い、会場がとても楽しい雰囲気です。雅楽の生演奏や舞も交え、タイトル通りみて・きいて・みりよくが伝わる公演でした！

アンケートでは、「端唄、小唄、雅楽、舞踊等バラエティーに富み古典芸能の一端を垣間見ることができました。ありがとうございました」「こういう名古屋の伝統文化の唄や三味線を生で聴くのは初めてのことでした。聞いたことのある唄もありました。いい経験になりました」と大好評でした。満員御礼、ありがとうございました！



快適以上を、世の中へ。

# TOENEC